

第12回 災害対策研修会（共同開催：第1回 PTOTST 合同災害対策研修会） レポート 事務局 災害対策部

2024年1月20日に第12回災害対策研修会（第1回 PTOTST 合同災害対策研修会）が、対面形式では4年ぶりの開催となりました。今回は、神奈川県3士会の災害対策部門が一堂に会し、「神奈川県における災害時の福祉支援体制からリハビリテーション専門職として行う支援について検討すること」をテーマに開催されました。

3士会から多くの方にご参加いただきました。本会 内田賢一会長、OT 士会 神保武則会長にもご参加いただき盛会に終了することができました。

本研修の第1部では、神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部 地域福祉課 地域福祉グループの岩下記久氏による「神奈川県における災害時の福祉支援体制について」講義が行われました。災害福祉に関する概要について説明いただき、2024年能登半島地震における災害派遣福祉チーム（DWAT）の取り組みについて、具体的な活動状況とともに現状の課題も共有することができました。1.5次避難所での活動や七尾市・志賀町での保健師との連携なども報告いただきました。神奈川 DWAT では、令和3年度に設置され、多職種が協力をしています。能登半島地震対応として2024年1月21日現在、派遣準備（待機）状態であり、本会から登録している DWAT メンバーも派遣要請に応えるべく準備を着々と進めています。

第2部では、リハビリテーション専門職が災害時の福祉支援においてどのような貢献ができるか、神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部 下田栄次氏、神奈川県作業療法士会 制度対策部 災害対策事業班 西則彦氏、神奈川県言語聴覚士会 災害リハビリテーション対策室 船橋庄司氏より、それぞれの災害支援対策に関する事業の説明を行いました。特に、地域全体の協力体制の構築と、被災地域における適時適切な支援について積極的な討議もなされました。災害発生時におけるリハビリテーション専門職の役割として、避難所でのリハビリテーションニーズの把握、避難所の環境評価と調整、補装具や福祉用具の選定・調整・指導、生活不活発病予防のための運動指導、他職種との連携、不足したセラピストの一時的な穴埋めなどが挙げられました。

参加者からも、地域でどのようにして関係機関と連携を取るべきか、どのようにして地域の資源を生かすべきか、積極的な意見交換も行われました。

本研修会では、災害時におけるリハビリテーション専門職の役割や連携の重要性について共有し、実際の取り組みや課題についても PTOTST で共有することができました。神奈川県3士会における災害支援ネットワークとしても大きな一歩を踏み出せた大変意義のある研修会となりました。

今後も、この合同研修会を継続しつつ、より効果的な災害時のリハビリテーション支援体制を構築していきたいと考えております。

